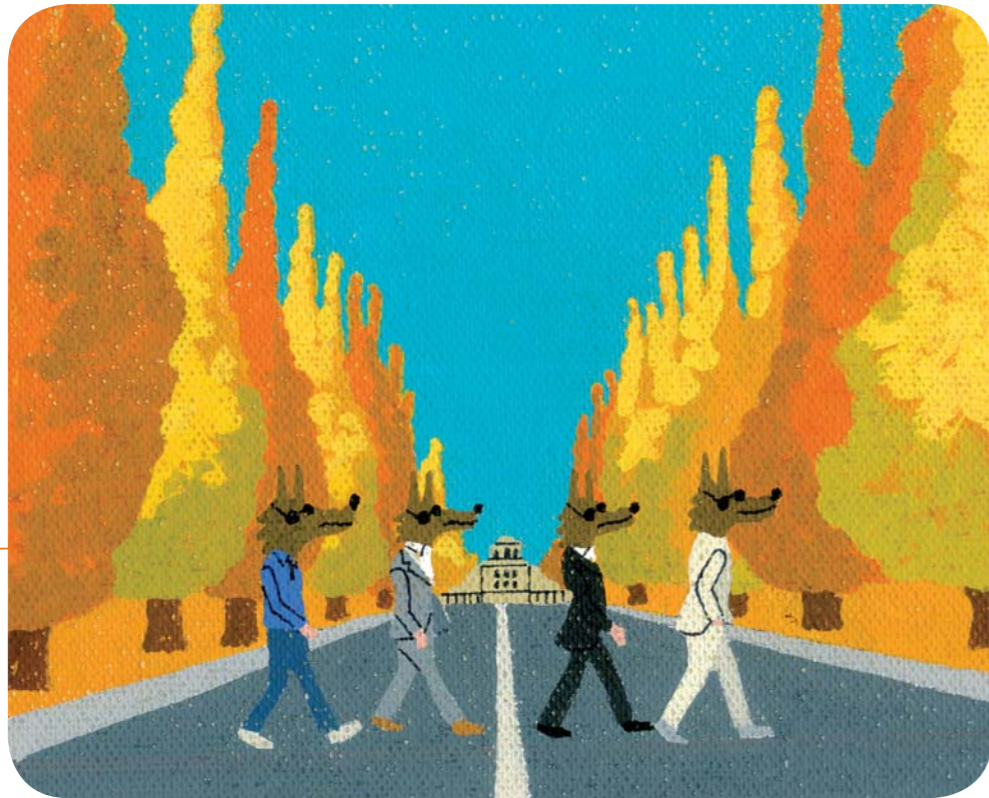


illustration by Takao Nakagawa



column | RAMPWAY 14

首都高名所案内 外苑 聖徳記念絵画館と サザンの回想

コラムニスト
泉 麻人

「外苑」の名は首都高速4号新宿線の出入口、としてすっかり定着したが、そもそもは明治神宮の外苑という意味なのだ。信濃町あたりからこの一帯を散策してみよう。

まずは権田原交差点の手前に建つ明治記念館。知り合いの結婚式で何度か入ったことがあるけれど、この本館は愛好するクレージーキッツの映画

の婚礼のシーンでもよく登場する。唐破風の長い軒を突き出した、厳かな木造建築の旧館は、外苑一帯が整備された大正末年からの建物らしい。

外苑東通りを渡った向う側が、いわゆる神宮外苑の中心地。豊かな木立ちの中に、国立競技場や神宮球場、日本青年館などの有名施設が並んでいる。このあたり、港区と新宿区、渋谷区

領域が入りこんでいる所だが、外苑の大方を占めるのは新宿区の霞ヶ丘町。ほんのひと頃まで「霞岳町」と表記されていた。霞の出る土地、というより、イメージ的な地名だろう。

た「金華山」という御料馬の剥製、といったものまで保存展示されていた。聖徳記念絵画館は大正8年3月に工事を始めて、7年かけて大正15年10月に竣工した。途中、関東大震災に見舞われたが、その時点で大方できあがっていた建物に被害は少なく、罹災者の避難所にも利用されたという。館内には、そんな建設段階の貴重な写真も掲示されていたが、外苑一帯のアスファルト道路もその当時に敷設されたもので、とくに絵画館の目の前あたりは、オリジナルのまま現存する。日本最古の車道用アスファルト舗装と謂れ書きにある。なるほど、よく見ると、年季のヒビらしきものが所々に認められる。

そういえば、大学4年生の夏、この外苑の一画で催されていたフェスティバルの特設ステージで唄う、サザンオールスターズの姿を初めて見たのだ。35年前の夏……勝手にシンドバッドのメロディが回想されてきた。

外苑のシンボルとなっているのが絵画館、正確には聖徳記念絵画館という。青山通りの方からのイチヨウ並木と突きあたりの絵画館——のショットは、屈指の東京名景色。古い日本映画のデートシーンという、まずここが使われていた。ところで、外苑は目に焼きついているのに、絵画館の内部を見物したことがなかった。許可なしでは入れない、ような印象をもっていたのだが、ほぼ常時開館されているようで、入場料も500円で意外と安い。入ると、左右に続くフロアーの壁に、幕末から明治にかけての歴史をテーマにした絵画が展示されている。多くは明治天皇を主体にしたもので、前期は日本画、後期は洋画の仕立ての作品が計80点。江戸開城談判、廃藩置県、日清戦争……教科書レベルの有名な事象ばかりでなく、皇后陛下が赤坂離宮内の田植えを視察される場とか、自宅で病床に伏した岩倉具視を見舞う明治天皇とか、けっこうコアなテーマの作品もあって興味深い。天皇がこよなく愛し

いずみ あさと / 1956年、東京都新宿区生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。79年、東京ニュース通信社に入社。『週刊TVガイド』などの編集者を経て、84年、フリーのコラムニスト。近著に『箱根駅伝を歩く』（平凡社）がある。

2 コラム RAMPWAY 泉 麻人

特集 ITS

5 交通システムの革新

東京大学 生産技術研究所 教授
大口 敬

9 プラットフォームの構築

特定非営利活動法人 ITS Japan 専務理事
天野 肇

12 コラム バイ・ザ・ウェイ 太田治子

14 CHALLENGE 交通管制システムの進化

15 データ物語 情報通信技術を用いた交通情報

16 首都高HEADLINE

18 business essay

時計とめがね
神戸大学大学院 工学研究科 教授
塚本昌彦

20 つくる人まもる人 首都高ホールサービス神奈川株式会社 大内勝昭

22 高速百景 中野正貴

cover photo by Minoru Saito
contents produced by
Metropolitan Expressway Company Limited